

「協働のまちづくり市民会議×熟議 2025」熟慮課題

みんなで話そう加古川の未来

加古川市の未来のため、次期総合計画を策定するにあたり、今後、どのような施策の方向性や考え方が必要になるのか、を 7 月 26 日(土)に議論をいたします。

議論に備え、加古川の未来が自分自身の希望をかなえるまち、かなうまちになるとの点から、そのために必要なことは何かを、本日の熟慮講演会の内容を踏まえ、また事前に資料を調べたり、整理したりして深く考えてください。これが熟慮の段階です。これにより、市民会議（議論）を実りあるものとすることができるはずです。下記の熟慮課題に取り組んでください。

課題 1 この加古川で、あなた自身はどのような夢や希望をかなえたいですか。またはどのような夢や希望がありますか。200 字以内でできるだけ具体的にお書きください。

AI に質問したところ、次のような回答がありました。

私の夢は、地域の健康課題をテクノロジーで解決することです。たとえば、高齢者の孤立を防ぐための AI 見守りシステムや、健康管理を支援するアプリの開発など、福祉と IT をつなぐ新しい仕組みをつくりたいです。地域の人々が安心して暮らせる未来を、自分の手で実現したいです。（AI が高校生を想定した回答例です）

加古川市が子育て・介護と就業を安心して両立できる街になってほしいです。自分が子育てするときに抱いた悩みや不安を、誰かと共有できたら少しでも気持ちが軽くなると感じることがありました。そうした経験を活かして、同じような悩みを持つ保護者と話せる場づくりに参加し、孤立せず助け合える地域になることを願っています。（AI が子育て世帯を想定した回答例です）

課題 2 夢を実現させるために、加古川に必要な Well-Being の具体的な内容は何でしょうか。施設や設備だけでなく、制度や仕組みなどソフトの部分も含めて幅広くお考えください。一つに限らず、複数のことを挙げてください。

AI に質問したところ、次のような回答がありました。

- ・福祉と IT をつなぐ地域連携プラットフォーム
- ・AI や IoT を活用した見守りセンサーや健康管理機器
- ・地域住民が集まる多機能型コミュニティスペース （AI が高校生を想定した回答した内容です）

- ・地域密着型の子育て支援センター（相談・保護者の交流）整備
- ・交通インフラの整備、駅周辺のバリアフリー化、バス路線の充実
- ・公園や自然遊び場を安全で多世代が使える設計にする
- ・柔軟な勤務制度、在宅勤務支援があるなど子育て・介護の両立支援制度
- ・主婦・シニア向けの多様な就業支援プログラム
- ・多世代交流の促進（イベントやボランティア活動の仕組み）（AI が子育て世帯を想定した回答例です）

課題3 回答として挙げて頂いた Well-Being の具体的な内容は、次のどれに関連があるとおもいますか。2つ選んでチェック欄にチェックを入れてください。

選択肢は、各まちづくり分野（カテゴリー）をまとめたものです。

	選択肢	まちづくり分野（カテゴリー）
1	生活環境	医療・福祉、買物・飲食、住宅環境、移動・交通、遊び・娯楽、子育て、初等・中等教育、地域行政、デジタル生活、公共空間、都市景観、事故・犯罪
2	自然	自然景観、自然の恵み、環境共生、自然災害
3	自分らしい生き方	自己効力感、健康状態、文化・芸術、教育機会の豊かさ、雇用・所得、事業創造
4	地域との人間関係	地域とのつながり、多様性と寛容性
5	上記には含まれない	

提出方法

熟慮課題はオンラインで提出をお願いしています。

下記の URL にて「協働のまちづくり市民会議×熟議 2025」の熟慮課題の提出ページにアクセスをしてください（QR コードを読み取りアクセスすることもできます）。

<https://forms.gle/VSR8ZjbmUBWnhLH66>



課題記入のページに入り、直接、ご記入頂くか、あるいは事前に Word などで作成されたファイルを添付し、送付をしてください。

締切 7月22日（火）